

一般財団法人 民際センター

## 2010年度事業報告書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

### 活動報告

#### 1. 奨学金事業

実施国：タイ、ラオス、カンボジア

目的：タイ(中学1～3年生及び一部高校生)、ラオス(小学3～5年生及び一部中学生)、カンボジア(小学4～6年生)の貧困家庭の子どもたちに対して奨学金支援を行い、万人に基礎教育の機会を与えることを目的とする。

実績： タイ奨学生 : 7,031名

ラオス奨学生 : 6,344名

カンボジア奨学生 : 1,386名

ニュースレター 季刊「ダルニー通信」 発行部数 10,000部×4回

受益者：支援生徒数 14,761名

##### ●立松和平氏写真展

立松氏が自身の奨学生をラオスに訪ねた際に撮った写真の写真展を開催し、広報活動を実施。

東京 2か所、神奈川 1か所、新潟 1か所、栃木 1か所

#### 2. ラオス小学校建設事業

実施国：ラオス

目的：校舎の量的不足、質的劣悪が指摘されているラオスにて校舎を建設し、より多くの子どもたちが安心して質の高い教育を受けられるように環境を整備する。

実績：①サワンナケート県ポントゥム村、6部屋タイプ1棟(5教室+教員室等)

2010年8月着工 2011年2月完成

②サワンナケート県ウンパウン村、6部屋タイプ1棟(5教室+教員室等)

2010年8月着工 2011年2月完成

③カムアン県ポンナディ村(進行中)

④サラワン県ナオラン村(進行中)

受益者：完成校の生徒約700人、教員約20人、村人多数

#### 3. ラオス図書事業

実施国：ラオス

目的：教科書以外の本の入手が困難なラオスの学校の子どもたちに、図書セットの寄贈などによって本に接する機会を提供し、子どもたちの想像力や思考力を育み、あ

わせて国語能力の向上を図る。

実績：Lao-Library1000 キャンペーンを展開し、前年比約 8 倍にあたる 369 個の図書セットを寄贈。

受益者：主に 4 県（カムアン、サワンナケート、サラワン、セーコーン）に所在の小学校、約 370 校の児童たち（約 43,000 人）

#### 4. ブーンライ保健衛生事業

実施国：ラオス

目的：病気や怪我をしても病院に通えない子どもたちが大勢いるラオスの学校に医療チームを派遣して、年 1 回の健康診断を実施する。また、緊急治療が必要な生徒には治療費を補助する。保健衛生の知識を得る場が少ない子どもたちに、病気の予防方法等を教えるワークショップを実施する。

実績：カムアン県の完全校 4 校、不完全校 9 校の計 13 校及びセーコーン県の完全校 5 校で実施。

受益者：生徒数 2,445 名（ラオカ村 140、ノンホイ 111、クアンパン 78、ラマラ 185、ポンセイ 25、ポンディ 55、シビレイ 10、ポンサアット 23、ヴァンフアパ 45、クアンパンナイ 33、コック 61、コケット 60、ヤンコム 93、パクトン 208、ピアマイ 354、ホーサー 486、カンドン 269、ヨクトン 208）

#### 5. ラオス教師修士留学事業

実施国：ラオス

目的：全国公募から選抜されたラオス人高校教師らをタイ・コーンケン大学に修士留学させ、国の教育の質的向上を担う人材を育成する。将来的にはラオスの教育機関で教科書や教師用指導要領の改善に携わり、それらの有効活用を以って、ラオス全土での均一化された国際水準の教育の実現を図る。

実績：現在、タイ・コーンケン大学修士課程に留学中の奨学生は 14 名  
[内訳] 3 期生（2007 年入学）：1 名、4 期生（2008 年入学）：5 名、  
5 期生（2009 年入学）：5 名、6 期生（2010 年入学）：3 名  
7 期生（2011 年入学準備）：4 名

受益者：修士課程修了後、ラオスの教育機関で国の教育の質的向上に携わるため受益者は多数

#### 6. ラオス少数民族教師養成事業

実施国：ラオス

目 的：少数民族の教師志望の学生に対し、奨学金を支給することによって、小中学校の教師の育成を促し、ラオスの基礎教育の質の向上を図る。

実 績：サワンナケート県サワンナケート教師養成短期大学「小学校教師養成コース」及び「中学校教師養成コース」、並びにチャンパサック県パクセ教師養成短期大学「小学校教師養成コース」及び「中学校教師養成コース奨学生」にて1年間履修

受益者：小学校コース4名、中学校コース20名

## 7. そろばん事業

実施国：ラオス

目 的：ラオスの小学校教育に日本式そろばん教育を導入することにより、児童の算数能力の向上をはかり、貧困削減の一助にする。

実 績：ビエンチャンの10校及びカムアン県の5校の小学校算数教師（計56名）を対象に、それぞれの地域で各4日間のそろばん教師養成研修を実施。あわせて教材（大・小そろばん）、及びテキストを提供。

受益者：ビエンチャンとカムアン県の算数教師56名、及び両地域の模擬授業実施校の児童（小3～小5）1,836名。

## 8. OSOP 事業（One School One Project=1校1事業）

実施国：タイ、ラオス

目 的：タイの中学校及びラオスの小学校・中学校で、生徒たちが地域の資源の活用や伝統的な技術を学び、かつ収益や生産物を食材に給食を実施して生徒の健康増進を図る。

実 績：タイ17校（ブリーラム県1校、チャイヤプーム県2校、マハーサーラカム県2校、ナコンパノム1校、ローイエット県1校、シーサケット県2校、サコンナコン県1校、スリン県1校、ウボンラーチャターニー県2校、ヤソートン県4校）。ラオス21校（サワンナケート県4校、カムアン県13校、セーコーン県4校）

受益者：実施校生徒数約11,000名（タイ約6,000名、ラオス約5,000名）

## 9. 研修旅行事業

実施国：タイ、ラオス、カンボジア

目 的：支援者が奨学金や学校建設などの支援をしている地域を訪問し、その現状を理解するとともに村泊などを通して相互交流を図る。

実 績：●ラオス国際交流の旅（HIS主催）

9月ラオス 参加者 20名 訪問県：サワンナケート県

3月ラオス 参加者 10名 訪問県：カムアン県

●委託旅行

- ・員弁ライオンズ 2月ラオス 参加者9名 カムアン県
- ・新潟学生旅行 12月ラオス 参加者6名 カムアン県
- ・神宮ライオンズ 2月ラオス 参加者8名 カムアン県
- ・長澤旅行 11月ラオス 参加者1名 カムアン県

●FR 関係旅行

各界の著名人が現地を訪問し、帰国後は広報やイベント活動に協力

・日比野克彦氏：9月ラオス、サワンナケート県を訪問し小学校5年生を対象に図画工作のワークショップ開催。

・MERRY MUSIC in LAO：11月、アートディレクター 水谷孝次氏の「MERRY PROJECT」、ミュージシャン つんく♂氏の会社「TNX」とのコラボプロジェクト「MERRY MUSIC in LAO」をラオス、サワンナケート県で実施。

・西木正明氏：3月、ラオス、カムアン県を訪問した。今後、雑誌などで紹介していただく予定。

●個人旅行 2名

受益者：日本人参加者 58名、訪問県では生徒及び村人等多数

## 10. 国内活動支援事業

ドナー連絡会活性化事業

目的：全国にある地域連絡会の連携を深め、ダルニー奨学金の普及を図る。

実績：全国ドナー連絡会会議第10回を記念し東京で初開催。

11/6（土）「ダルニー・フェスティバル2010」開催（於：JICA地球ひろば）

第1部トークショー（阿刀田理事、浦上理事）

第2部つながり交流会（ブース形式で各連絡会・支援企業の活動を紹介）

参加者は約120名。

引き続き行われた「ドナー連絡会全国会議」では、今後の方針や地元で活動する際のサポートアイテム（ダルニープレート等）を検討。

11/7（日）事務局にて全国連絡会世話人に活動の近況報告

## 11. タイ特別奨学金事業（委託）

実施国：タイ

目的：バンコク、チェンマイで実施している特別奨学金事業のサポート。

成績がよいが貧しいバンコク、チェンマイの学生に奨学金を支給することで勉学の継続を促す。

実績：バンコク中学生23名、高校生7名 チェンマイ中学生51名、高校生27名の奨学生に奨学金を受給

6月に奨学金授与式を実施

11月に現地訪問実施（バンコク、チェンマイの学校や奨学生の自宅を訪問）

受益者：奨学生数約108名

## 12. 震災支援事業

実施国：日本

目的：未曾有の被害をもたらした東日本大震災の被災者・地域に対し支援活動を実施した。

実績

国内：募金は被災地にて救援作業を実施している国際ボランティアセンター山形(東北広域震災センター事務局)を通じて支援活動に活用。その他、物資（Tシャツ・歯磨きセット・文房具、ドライシャンプー）を被災地に発送した。

海外：タイ事務局（EDF-Thai）は、地震発生直後からこれまで日本にお世話になった恩返しとして募金活動を開始。タイ東北地方の県教育委員会は各学校からの寄付を取りまとめ、また、バンコク首都圏ではタイ人、在タイ日本人等多くの人々から浄財が寄せられた。寄付金 484,208 バーツ（1,346,144 円）は、秋尾（理事長）が支援校である陸前高田市立第一中学校に直接届けた。（2011年4月26日）

以上